

第3週 精神的虐待の主な特徴とは？

1. ウェルカム(5分程度)

今季のグループはクローズ

2. グループガイドラインの確認(5分程度)

初回以降は「ガイドライン」のみ

☰ ひまわりの小路(こみち) グループガイドライン

ガイドラインー安心して参加できる環境作りのため、以下のルールをお守り下さい。

1. 守秘義務を守ること

グループ内で共有される内容は個人的にプライベートな情報であり、とてもデリケートな問題です。グループの中で話されたことを外部で話さないで下さい。ご自身の体験談や個人的な成長については、ご自由にお話し下さい。

2. 発表者の話に集中すること

人の話を聞いているときに、自分自身の体験について話し出す時があります。しかし、誰かが話しているときに、自分自身の話をすることは、グループの注意を、話し手が共有している話題から、自分自身に向けてしまうこととなります。発表者の話に集中しましょう。

3. 他の人が意見を述べているときは、発言を最後まで聞くこと

4. 話す時間を一人で独占しないように配慮すること

司会者が全体の進行のため時間を調整しています。発言を終えるよう、声をかけさせていただく場合があります、ご了承ください。

5. 互いの考えや感じ方を尊重する

6. まず聴く。直さない、アドバイスしない

人々の旅を尊重すること。良い牧者である主が、傷んでいる人を導かれるタイミングに信頼する。すぐにアドバイスをしたいという誘惑に負けないようにしましょう。

3. 今日のストーリー(約20-25分)

プレゼンターによる発表

4.グループタイム

第3章 精神的虐待の主な特徴とは？

参考書籍: Oakley, L., & Humphreys, J. (2019). *Escaping the maze of spiritual abuse: Creating healthy christian cultures*. SPCK Publishing.

表3.1 霊的虐待の主な特徴

強制と支配	
操作、圧力、搾取 過剰なコミットメントと適合性への期待 説明責任の徹底(説明を求められる)	
検閲	質問できない 異論を唱えられない 懸念を提起できない 個人的にも集団的にも、精神的虐待について話し合うことができない。
絶対服従 恐怖 孤立と拒絶 公衆の面前で恥をかかせ、屈辱を与える	
虐待の霊的側面	
強制と支配のための聖書の使用 強要のため「神の召命」を用いる 強制するために神の名や示唆された意志を利用する 霊的結末の脅威	

カルト化教会、霊的虐待につながる文化を持つ団体には多くの共通項、傾向性があります。

有害な特権意識、選民思想

- 私達は特別だ
- 他の教会、他教会のクリスチャンは墮落している
- 孤立させる
- 困り込む
- 社会とのつながりを絶ち、自分たちのコミュニックへのつながりを強める。離れられないようにする。
- 対立構造、意識を作る(同じようなプライドを植え込む)

再臨、黙示録への偏った危機意識

ご利益的

愛ではなく恐怖がベース、強迫的

あなたは救われない、墮落した(適応が極端)

3章 精神的虐待の主な特...

強制

過剰なコミットメントと...

奉仕量と神との関係を結...

同調圧力と制裁

説明責任の強制(説明を...

検閲

沈黙

虐待を継続させるサイク...

霊的エリート意識

恐怖

強制と支配のための聖書...

神は関与しているのか？

裁判例：霊的権威の濫用

表3.1 精神的虐待の主な...

1. 上の表を見てどのようなことを考えましたか、感じましたか。
2. どのような理由で組織、教会の指導者、クリスチャンは上のようなことを行うのでしょうか？意図的か、無意識的？
3. 同じような虐待的環境を作り出さないためにはどのようなことが必要でしょうか。
4. 上記のようなことを行っている組織、個人にどのように対処すればよいでしょうか？

キリストと活動家(re-activist)

[Christian contemplation: A heart that listens/ キリスト教的観想-聞く心](#)

ひまわりの小路(こみち)ー霊的虐待からの回復を支援するグループ

ブライアン・ズバンド

「受肉によって神が歴史に決定的な一歩を踏み出されたとき、誰がそれに気が付いたのか。預言聖句の専門家であった律法学者や祭司たち、ファリサイ派の人々ではない。

その代わりに、異教徒の星を眺める者たちや農民の羊飼いたちが、神のなさることを見極めていた。彼らは専門家でもなく、宗教的な喧噪の中心にいる反動者でもなく、思索の静かな端っこにいる静かな人々だった。

星を眺めたり、夜警をしたりすることは、観想的生活の深い比喩である。多くの人々にとって、東方の賢者や羊飼いたちが、夜中に長い間、空を見張っていることは、何の意味もないことをしているように見えるだろう。

神を待つということは、神が行動するのを待つということ。神は常に世界を愛し、常に何かを生み出しているのだから。神が行動するのを待つということは、あなたの魂が十分に静かになり、瞑想的になって、神が権力の回廊から遠く離れた、曖昧で忘れ去られた片隅で何をしているのかを見分けることができるようになるのを待つことなのだ。

だから、自信を持って言おう：神は行動しようとしている。神はあなたの人生に、そして私たちの世界に行動を起こそうとしている。

しかし、神の行いを見極めたいのであれば、まず静かに観想して待つことを学ばなければならない。そうでなければ、ただのアクティビスト(re-activist)になってしまう。アクティビストはただ怒りを再生産し、世界を怒りの渦に巻き込むだけだ。イエスは思索的な活動家であったが、決してアクティビストではなかった。」

(下線：池田)

悪を再生産しない。彼らの不健全さ、悪で自分の行動、生き方を定義しない。

・あなたの痛みはキリストを通して何を生み出し、表現するのか。何を人々にもたらずか。

5. Hope Path(20分)

[Hope Paths](#)を使って、いま自分がいるところを分かち合ってみましょう。

6.最後にーアナウンス

ひまわりの小路(こみち)ー霊的虐待からの回復を支援するグループ

© 2024 Soul Care Ministry